

佳作

友達は一生の宝物

兵庫県南あわじ市・洲本市組合立広田小学校四年 寺内 幸奈

私は、お母さんから「友達は一生の宝物だよ」とよく言われます。私にとって友達は、いっしょに遊んだり、助け合ったりする仲間です。だから、友達ではなくてはならないとても大切なそんざいです。

ある日、私は学校で友達とけんかをしました。原因は、かんちがいから始まりました。おたがいがまちがって、わるいように思いこんでしまったのです。あの時、友達と話をしていれば、かんちがいをするかも知んかになることもなかったと思います。友達とは、おたがいに心をゆるし合って、同じ立場でいっしょに遊んだり、しゃべったりする親しい人。とありました。

私は言葉を交わして、自分の気持ちや考えを伝える大切さに気づきました。言葉にしないとわからないうことだっています。私たちがいつもあたり前に

している「話す」ということは、私たちの毎日を送るべきなものにしてくれる大切なものです。

だからこそ、言葉で友達をきずつけてしまうこともあるのです。じょうだんで言ってしまった一言、わるきもなく口に出してしまった一言。本心でなくとも、とりかえしのつかない場合もあります。人によって言葉のつたわりかたはちがいます。この言葉なら相手はきずつかないかな。悲しい顔にならないかな。今までは、そんなに深く言葉について考えたりできていなかった私がありました。これからは、言葉にする前に友達の気持ちや立場をよく考えて、言葉にしなければならぬこと、言葉の大切さを実感しました。

毎日を気持ちよくすごし、楽しい学校生活にするために、友達を思いやったやさしい気持ちで、言葉を使っていこうと決めました。言葉で自分の気持ち伝えることができるのは人間だけです。私たちが心が使うことのできる「言葉」で、どんな言葉が心を温かくすることができるのか考えて、一言一言を大切にしたいと思います。

一番大切なことは「ありがとう」をたくさん伝えることだと思っています。

「おはよう」「ありがとう」たった一言のあいさつで心が明るくなったり、あたたかくなります。あいさつも自分の気持ちを言葉にした心のかたちです。あいさつをする事で、私と友達の関係も変えることだってできます。心のこもったあいさつが伝わり、もっとなかよくなれたり、新しい友達ができたり、なかなかおりのきっかけにもなります。あいさつもとても大切な言葉、人と人をつないでくれるまほうの言葉です。

だれにでも元気よくあいさつをして、思いやりをもって友達と大切に付き合っていくこと、これからの新しい私です。そして、一人一人がそういうど力をする事で、きっと今よりもっと明るく楽しいクラスに変わると思っています。一生の宝物を失うことがぜったいにならないように、言葉を交わして、友じょうを深めていきたいと思えます。